

### 3 環境共生への取り組み

地球温暖化防止のため、エコシャフトによる環境負荷の低減や雨水・井水など自然エネルギーの活用をはじめ、省エネルギー・省資源に配慮した構造・設備の導入により、環境にやさしく、維持管理しやすい計画としました。

また、駐車場緑化、屋上緑化のほか、駐車場を透水性舗装とすることで雨水を地中に還元するなど、環境に配慮した計画としました。



執務室中央のエコシャフトのイメージ

※ エコシャフトとは、自然換気や採光により環境負荷の低減を図る建築設備です。

建物内に設けた吹き抜け空間の煙突効果を活用し、自然換気力を増すことで換気に必要な消費エネルギーを削減することができます。

#### (1) 暖冷房の熱負荷の削減

##### ① 窓の断熱等

外に面するサッシは、断熱や防音効果のあるペアガラスとし、外部熱負荷の低減を図ります。

##### ② バルコニーの設置

冬の日差しを採り入れ、夏の日差しを遮るバルコニーの設置により自然エネルギーの活用と熱負荷の低減を図ります。

##### ③ 部分空調

オープンフロアの執務空間は、部分空調も可能な省エネルギー型空調方式としました。

#### (2) 照明器具

① 自動的に照明が点灯・消灯する人感センサーを設置するほか、中央監視室でも照明器設備の制御を行い、無駄な電気の使用を抑えます。

② 南北の窓側等は、照度センサーにより照明の調光を図ります。

③ 高効率型の蛍光灯などを設置することにより、エネルギーの有効利用を図ります。

### (3) 雨水・井水利用

雨水や井水を貯留し、トイレの洗浄や植栽の散水に利用するなど、節水に努めます。

### (4) 氷蓄熱空調設備

深夜電力を利用し、夏は氷、冬は温水を作り蓄え、昼間の冷房や暖房に使うなど、効率的なエネルギー利用を図ります。

### (5) 外気冷房設備

春、秋の中間期や冬においては、外気を導入する設備により、自然エネルギーの有効活用を図ります。

